

『スマート通勤おかやま2012』 実施結果(9月24日～28日実施)

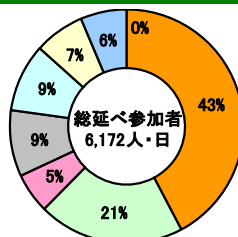
1. 参加状況及び CO₂・体内消費エネルギー・ガソリンの削減量と削減率

●全体の参加状況

参加事業所数	144事業所
参加者数	2,263人

144事業所、2,263人の方が「スマート通勤おかやま2012」の取り組みに参加されました。

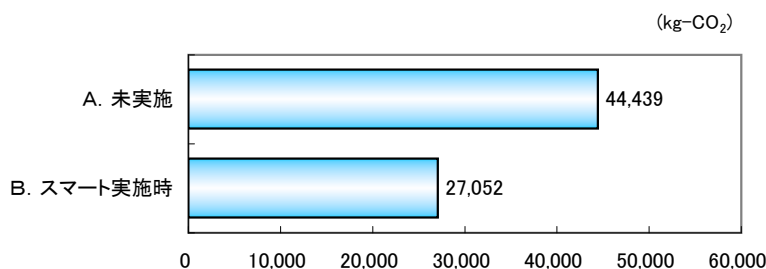
●変容交通手段の状況



- 自転車
- 時差出勤
- バス
- 自動車相乗り
- 徒歩
- 鉄道
- バイク
- 路面電車

自動車からの変容手段として、自転車への転換が約43%を占める。

●全体の期間中の「CO₂」削減量と削減率 (※過去最大)

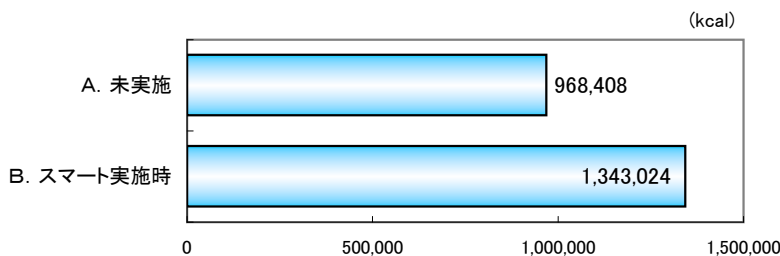


C. 削減量 (A-B)	17,387 kg-CO ₂
D. 削減率 (C/A)	39.1 %

約17.4t-CO₂は、約1,242本のスギの木が1年間に吸収するCO₂量に相当するものです。

※スギの木は、樹齢50年程度のものを想定。スギの木が1年間に約14kg(地球温暖化のための緑の吸収源対策:環境省林野庁)のCO₂を吸収するとして試算。

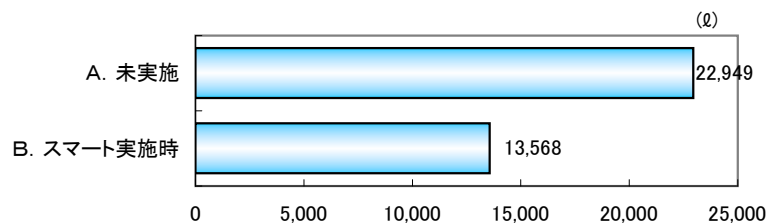
●全体の期間中の通勤時の「体内消費エネルギー」増加量と増加率



C. 増加量 (B-A)	374,617 kcal
D. 増加率 (C/A)	38.7 %

一人当たり平均増加量約165.5kcalは、ジョギングを約22分間実施した場合の消費エネルギーに相当するものです。

●全体の期間中の「ガソリン」削減量と削減率 (※過去最大)



C. 削減量 (A-B)	9,382 ℓ
D. 削減率 (C/A)	40.9 %

(1人当たり約4.1ℓ)

備考) 「A. 未実施」は、参加者のみなさんが通常時の交通手段で通勤した場合の数値です。

「C. 削減量」「D. 削減率」の結果は、AおよびBの各値の小数点以下の数値および結果数値の丸めにより若干の誤差が生じる場合がございます。

CO₂排出量: 「平成14年度国土交通省白書」(国土交通省)

エネルギー消費: 第6次改定日本人の栄養所要量(厚生労働省)

(※エネルギー消費は、年齢45.7歳(岡山県平均)、体重を男性65kg、女性を55kgとして計算しています)

燃料消費量: 「メーカー公表車種別燃料消費率」(国土交通省)

2. 参加事業所の状況

●参加者数		
第1位	倉敷記念病院	227人
第2位	社会福祉法人旭川荘	193人
第3位	岡山ガス株式会社	179人
第4位	麒麟ビール株式会社 岡山工場	102人
第5位	水島ガス株式会社	71人

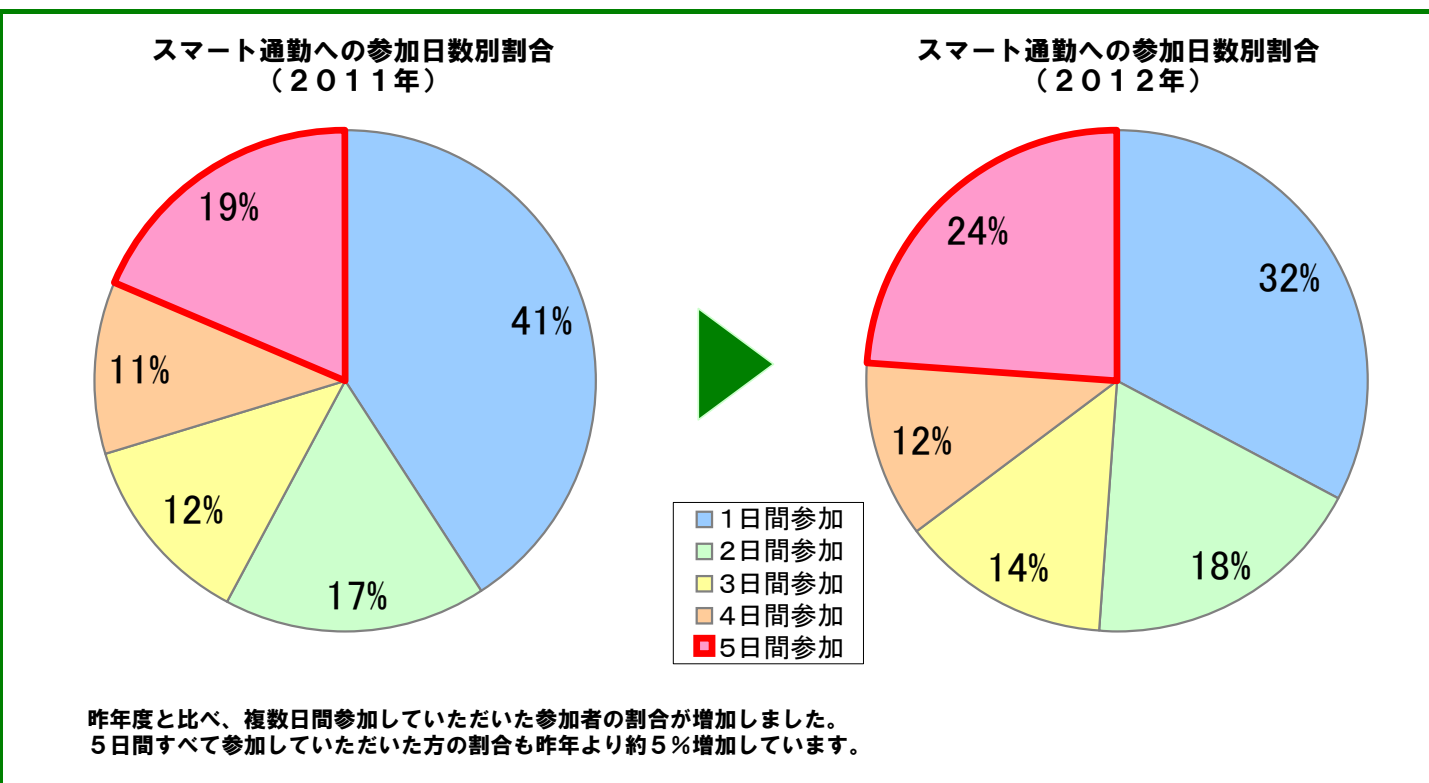
●CO ₂ 排出削減量		
第1位	社会福祉法人旭川荘	約1.23t
第2位	岡山ガス株式会社	約1.10t
第3位	倉敷記念病院	約0.93t
第4位	介護老人保健施設 福寿荘	約0.55t
第5位	麒麟ビール株式会社 岡山工場	約0.28t

●「体内消費エネルギー」増加量		
第1位	社会福祉法人旭川荘	約4.8万kcal
第2位	介護老人保健施設 福寿荘	約2.4万kcal
第3位	岡山ガス株式会社	約2.2万kcal
第4位	倉敷記念病院	約2.0万kcal
第5位	麒麟ビール株式会社 岡山工場	約1.7万kcal

●ガソリン消費削減量		
第1位	社会福祉法人旭川荘	約677リットル
第2位	岡山ガス株式会社	約581リットル
第3位	倉敷記念病院	約499リットル
第4位	介護老人保健施設 福寿荘	約286リットル
第5位	麒麟ビール株式会社 岡山工場	約156リットル

●一人当りCO ₂ 排出削減量		
第1位	ワンネス株式会社	約60.8kg
第2位	サキヤクリエイト株式会社	約20.8kg
第3位	岡山環境保全センター株式会社	約19.7kg
第4位	瀬戸内造園株式会社	約17.2kg
第5位	株式会社岡山臨港	約16.1kg

3. 参加日数



4. 自転車通勤をされた方の声

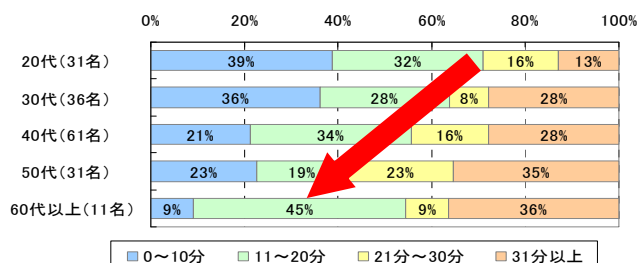
今年のスマート通勤では、自転車通勤のメリットをお示したパンフレットを作成し、自転車でのスマート通勤を呼びかけました。自転車通勤に参加していただいた方(自転車モニター)の声をお知らせします。

●自転車モニターの概要

- ・対象者：スマート通勤おかやま2012に参加された方で、自転車通勤を実施し、アンケートにお答えいただいた方。
- ・回答：173名(42事業所)

●自転車通勤を行った方の年代構成

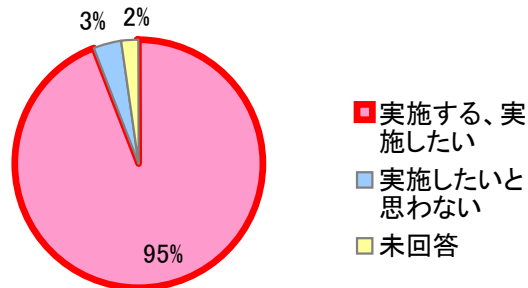
～各年齢層で幅広く実施/年齢が高い人ほど長距離通勤を実践～



-年代別の自転車通勤時間-

●今後の自転車通勤意向

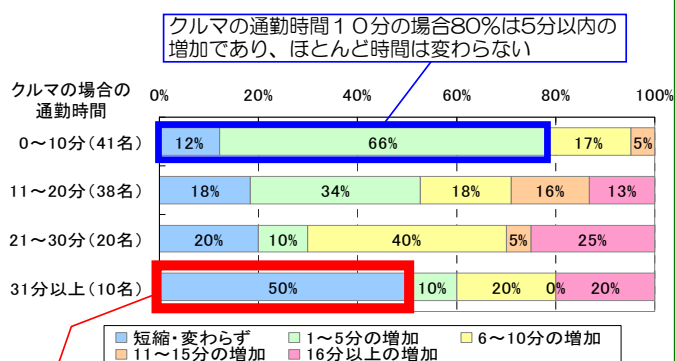
～今後も実施する、実施してみたいが90%超～



-今後、自転車通勤をしてみたいか-

●クルマと比べた所要時間の変化

～通勤時間が短いとクルマも自転車もほとんど変わらない通勤時間/通勤時間が長くてもクルマ通勤との時間差は僅か～

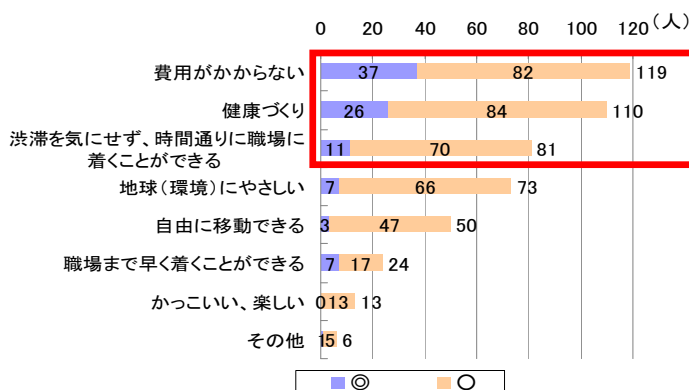


クルマの通勤時間31分以上の場合、半数は自転車通勤でも時間が変わらないor時間短縮！！

-クルマの場合の通勤時間別の自転車通勤での増加時間-

●自転車を使う理由

～「費用がかからない」「健康」「時間通りに職場に着くことができる」など～



(※最も大きな理由に◎(1つのみ選択)、その他あてはまるものすべてに○)(n=173)

-通勤に自転車を利用する理由-

●自転車通勤を行ってよかったこと(代表的な意見)

【景色・季節 ～季節の移ろいを感じたり、寄り道を楽しんだり～】

- ・通勤途中の景色の季節ごとの移ろいがかかることが楽しい。植物の移ろいが特に美しい。異なる道、同じ道で新しい発見があると得た気分。
- ・普段通らない道を通り、朝の商店街の様子がみえた。焼きたてのパンを買って出勤した。

【からだにエコ ～カラダを動かしてリフレッシュ～】

- ・普段は車を利用しており、運動不足が気になっていた。自転車を利用することで少しでも体を動かすことができ、とても良かった。
- ・就業前時間前のウォーミングアップになり、スムーズに業務につけたように思う。
- ・早朝から体を動かすことによりフレッシュな気持ちで仕事に就けた。

【お財布にエコ ～経済的!～】

- ・ガソリンが減らない。
- ・駐車場代がかからなかった。

【時間のエコ ～渋滞に巻き込まれずにスイスイ通勤～】

- ・通勤時の事故渋滞にかからなかったため、遅刻せずに会社に行けた。
- ・時間を気にせずに通勤できた。

【コミュニティ ～地域の人とのふれあい～】

- ・地域の人にあいさつができた。
- ・駐輪場のおじさんと仲良くなった。